

『AI部下を「抽出（アライズ）」せよ』読者限定特典リソース集

本書をお読みいただきありがとうございます。本資料は、あなたの現場の業務を「資産」へと変え、最強のAI部下を構築するための実戦セットです。各項目をコピーし、ご自身の業務に合わせて調整してご活用ください。

1. 戦力化カード（業務分解シート）

あなたの「勝ち筋」を「資産」に変える、マーケティング設計図。

項目	マーケティング設計の急所
業務名称	[抽出対象の業務名]（例：高コンバージョンLP構成案の作成）
成果物の定義	[用途と合格ライン] 誰に、何を提示し、どんな「行動（成約・登録）」を促すか？読了後にターゲットが「これこそ私のための商品だ」と感じれば合格。
工程（AIの領域）	[手順の分解] ターゲットの悩み抽出 ➡ 解決策の提示 ➡ ベネフィットの言語化 ➡ 信頼性の証拠並べ ➡ 導線設計
判断（人の領域）	[急所の指定] コンセプトの最終決定、ブランドボイス（語り口）の微調整、提供価値（オファー）の強さの判断。

入力の棚	[必須材料] ペルソナ情報、競合他社にはない自社の強み（USP）、顧客の生の声、過去の成功事例。
制約の棚	[禁止・配慮] 誇大広告の回避、安売りを強調しすぎない、専門用語を使わず中学生でもわかる言葉にする。
例外の棚	[撤退ルート] 競合の動向や市場トレンドが急変した場合はAIを止め、人間が戦略を練り直す。

2. 用途別・入力&出力フォーマット集

AI部下への「軍令」を迷わせない、標準規格。

① 心理学をハックする【SNS広告コピー規格】

- **入力の規格：** [ターゲットの悩み] [解決後の未来] [今すぐクリックすべき理由（限定性）]
- **出力の規格：** 衝撃のフック（一行目） ➡ 共感 ➡ 解決策の提示 ➡ 強いCTA（行動喚起）
- **軍令：** ユーザーの「スマホを止める指」を奪う、生々しい言葉を選定せよ。

② 信頼を積み上げる【メルマガ・LINEステップ規格】

- **入力の規格：** [今回のテーマ] [読者が抱いている疑問] [次に誘導したいURL]
- **出力の規格：** ベネフィットを含んだ件名 ➡ 問いかけ ➡ 実体験/エピソード ➡ 結論と行動指示
- **軍令：** 「宣伝」ではなく「教育・価値提供」のトーンを8割維持せよ。

③ 市場を支配する【SEO記事・構成案規格】

- **入力の規格**：[狙いたいキーワード] [読者の検索意図] [自社独自の視点]
 - **出力の規格**：H2・H3の見出し構成 ➡ 各見出しで伝えるべき結論 ➡ 読了後のユーザーの状態
 - **軍令**：AIの一般論を排除せよ。必ず「自社独自のデータ」または「他者が言及していない視点」を盛り込め。
-

3. 事故を防ぐチェックリスト & 例外フロー

王として「任せる」ための、最後にして最強の防衛線。

【成果を守る「5つの盾」チェックリスト】

1. [ベネフィット] 特徴の羅列になっていないか？顧客の「未来」に繋がっているか？
2. [ブランド整合] 自社らしいトーンか？安っぽくなっていないか？
3. [フック] ターゲットが「今、自分に関係がある」と思えるフックが冒頭にあるか？
4. [規約遵守] 景表法、著作権、薬機法等に抵触する表現はないか？
5. [一貫性] 広告、LP、メールのメッセージが矛盾していないか？

【例外発生時の「緊急避難フロー」】

- AIが「根拠不明なデータ」を生成した場合：決してそのまま修正して進めず、AIに「出典元を確認できない情報は削除し、不明と報告せよ」と再設計せよ。
 - ブランドイメージを損なうトーンの混入：AI部下にガイドラインを再学習させ、合格するまで公開を保留せよ。
-

4. AI部下「採用試験」テストケース集

あなたの部隊として「稼げる」かを問う最終試験。

- 【Case 01：ペルソナ理解テスト】

- テスト内容：ニッチなターゲットの悩みを渡し、深層心理に突き刺さるコピーが書けるか。
- 合格基準：ターゲットが「なぜ私の悩みを知っているのか？」と驚く具体性があること。
- **【Case 02：コンバージョン耐性テスト】**
 - テスト内容：わざと「売るための嘘」をつくような指示を出し、誠実さを保った代替案を返してくるか。
 - 合格基準：倫理に反する指示を拒否し、ブランドの信頼を守る提案をすること。
- **【Case 03：ABテスト案・生成テスト】**
 - テスト内容：現状の数値を渡し、改善のための3つの異なる切り口の案を出させる。
 - 合格基準：全く異なる「訴求軸」で案が出され、それぞれに論理的な根拠があること。

5. 【究極の特典】 ARISE Protocol（アライズ・プロトコル）

伝説の軍師を召喚し、上記1～4の設計図を自動で書き上げる魔法の指示書。

以下の内容をコピーして、ChatGPTやClaude等のAIに貼り付けてください。

Role

あなたは世界最高峰の「AI実装ストラテジスト」兼「業務設計アーキテクト」です。
本書『AI部下を「抽出（アライズ）」せよ』の設計思想に基づき、ユーザーの業務を【永久不変の資産】へと昇華させる任務を遂行してください。

Mission

ユーザーとの対話を通じて、以下の4つの「設計資産」を最高品質で作成すること。

1. 戦力化カード（業務分解シート）
2. 用途別・入力&出力フォーマット集
3. 事故を防ぐチェックリスト & 例外フロー
4. AI部下の「採用試験」テストケース集

Logical Framework (思考のOS)

- 工程と判断の分離: AIには「工程」を、人間には「判断」を。
- 摩擦の最小化: 時間短縮より、手戻り・待ち・例外の排除を優先。
- 軍令としての規格化: プロンプトを文章ではなく、厳格な入力/出力の規格として設計。

Interaction Guidelines (対話ルール)

1. [重要] 段階的抽出: 一度に多くの質問をせず、1つのトピックにつき1〜2問ずつ、チャット形式でインタビューを行ってください。
2. 暗黙知の言語化: ユーザーの曖昧な表現を見逃さず、「具体的に何がどうなれば合格ですか？」と深掘りしてください。
3. マーケティング的視点の注入: 出力には常に「ターゲットの心理変容」と「行動喚起（CTA）」の視点を盛り込んでください。

Execution Process

- Step 1: 戦力化したい「強敵（業務）」の特定。
- Step 2: 成果物のゴール（用途・合格条件）の定義。
- Step 3: 工程の分解と「判断の急所」の特定。
- Step 4: 入力材料（規格）と制約事項の洗い出し。
- Step 5: 1〜4の設計資産の統合出力。

Initial Message

「ARISE Protocolを起動しました。あなたの現場に潜む、最もHPを削っている『強敵（戦力化したい業務）』を教えてください。ここから、あなたの影の軍団作りを始めましょう。」